



第2子以降の保育料を無償化します

多子世帯の経済的負担を減らすため、町独自の取り組みとして、0歳児～2歳児クラスに通う第2子以降の保育料を無償化（一部費用は対象外）します。

また、令和7年9月からは「第1子の数え方」も変更します。年齢に関係なく、同じ家計で暮らしているお子さんのうち、最年長の子を第1子、その下の子を第2子と数えます。なお、別居の生計を同一にしているお子さんがいる場合は、子育て支援課へご相談ください。

令和7年8月まで

きょうだい構成例①

年齢	小学4年生	2歳	1歳	0歳
きょうだいカウント	—	第1子	第2子	第3子
保育料	—	全額負担	半額負担	無償

きょうだい構成例②

年齢	小学3年生	1歳
きょうだいカウント	第1子	第2子
保育料	—	半額負担

令和7年9月から

年齢	小学4年生	2歳	1歳	0歳
きょうだいカウント	第1子	第2子	第3子	第4子
保育料	—	無償		

年齢	小学3年生	1歳
きょうだいカウント	第1子	第2子
保育料	—	無償

：変更点

- 認可保育所、認定こども園、地域型保育事業所を利用の場合
 保育料を無償化（実費徴収の費用を除く）
対 保育の必要性のある0歳から3歳になって最初の4月1日を迎えるまでの第2子以降の児童
申 原則申請不要。
- 認可外保育所、企業主導型保育事業所を利用の場合【申請が必要】
 1か月あたり42,000円を上限に保育料を無償化（給食費および実費徴収の費用などを除く）
対 市町村民税課税世帯に属し、保育の必要性のある0歳から3歳になって最初の4月1日を迎えるまでの第2子以降の児童
申 次の①～④の書類を揃え、子育て支援課へ提出。（広田保育所については原則申請不要。）
 ① 砥部町認可外保育施設保育料補助金交付申請書兼請求書
 ② 利用した月の保育料の領収書または施設の発行した保育料領収証明書
 ③ 保護者に保育が必要な事由があることを証する書類
 ④ 補助金の振込を希望する口座がわかるもの（領収書等に記載された保護者名義に限る）
 ※①と③の様式は、子育て支援課窓口にあり。町のホームページからもダウンロード可。

詳しくはHPをご覧ください



問 子育て支援課 保育幼稚園係 ☎(962)6171

令和7年度 子育て支援事業のご案内 ※詳しくはHPをご覧ください

子育て用品購入費 助成事業

おむつ用品、授乳・離乳食用品などの購入に使える36,000円分の引換券をお渡しします。



出産世帯応援事業

育児用品、時短・省エネ家電などの購入費用を助成します。

【助成金額】
父母ともに35歳以下
⇒30万円
父母のいずれかが36歳以上
⇒20万円



子育て世帯・若年世帯 住替え助成事業

町内に住宅を購入した世帯へ20万円を助成します。



多子世帯引越し費用 助成事業

第2子以降のお子さんがお生まれの世帯へ、町内での引越し費用を助成します。

【助成金額】
第2子
⇒20万円
第3子以降
⇒30万円



愛顔の子育て応援事業

第2子以降のお子さんがお生まれの保護者へ、紙おむつの購入に使える50,000円分の応援券をお渡しします。



出産世帯奨学金返還支援事業

対象期間中に自身で返還した奨学金について一人あたり20万円を助成します。



病児・病後児保育事業

仕事などの理由により、病気や病気の回復期のお子さんの看護ができない保護者に代わり、一時的に施設での預かりをします。



ぴよぴよ広場

日 8月25日(月) 10時～11時30分

場 愛媛県立医療技術大学別館2階
地域交流センター多目的室

対 麻生小校区の1歳未満の乳児、保護者など

内容 コミュニケーション遊び
保健師による育児相談・身体計測
みんなで自由に交流会(おしゃべりタイム)
保育士による親子のスキンシップ(ベビータッチケア)

問 子育て支援課 ☎(907)5665



校区を分けて行なっていますが、他校区にお住まいの人も参加可能です。お気軽にお問い合わせください。

ピアサポートこもれび広場

発達のことなどで不安などをお持ちの保護者や家族による定期的なグループ相談会を開催しています。

お気軽にご相談ください

日 8月8日(金) 10時～12時

場 中央公民館4階 会議室2

対 お子さんや家族の発達のことなどで不安や困りごとを感じている人

申 特定非営利活動法人ぶちすてつぷ
☎080(4035)2241(担当:武田)
✉komorebi.tobe@gmail.com

問 介護福祉課 障がい福祉係
☎(962)7255

ご相談申込フォームはこちらから



年間実施予定を町HPでお知らせしています。



とべ子育て元気ねっと



「ぼっかぼか」でのひとコマ

夏休みのつどいの広場には、中学生のお兄ちゃん・お姉ちゃんがボランティアに来て一緒に遊んでくれます。地域のつながりができるきっかけになっています。



とべ子育て元気ねっと Instagram 遊び場紹介中